



リサーチ・クリップ

2009/11/17 No.13

リサーチ・クリップでは、最近関心の高まっている環境問題や、企業の従業員・地域社会といった様々な社会との関わりなどに関する記事や情報を紹介します。

ESG

Responsible Investor 社 欧州地域 SRI ファンドの販売額動向を発表 (11月8日)

Responsible Investor 社は、欧州の投資情報を取り扱う Lipper FMI 社のデータを用いて、SRI ファンドの販売状況と資産状況を発表した。

2009年8月末時点における SRI ファンドの販売額は約 4,720 万ユーロであり、販売額としては過去最大の落ち込みとなり、資金流出も続いている状況であるという。しかし、資産残高上位 20 位までのファンドについては、順調な販売が続いているため、販売の落ち込みは資産残高 21 位以下のファンドに見られる傾向であるということがわかる。

ここでの SRI ファンドとは、株式等の銘柄選別のプロセスにおいて、ESG (環境・社会・ガバナンス) 要因に基づくスクリーニングを導入しており、Lipper FMI 社がこの基準に基づいて、SRI ファンドと認定しているものと定義する。

8月の月間販売額状況を見ると、販売額が最も多い SRI ファンドは、フランスの Allianz 社が設定する、「Allianz Securicash SRI」で、約 7,300 万ユーロを販売している。次いで販売額が多かったファンドは、英国のロンドンに拠点を置く Impax 社が設定する、「Dublin-domiciled Environmental」で、約 5,100 万ユーロ、3 番目はスウェーデン銀行が設定する、「SSF-Global Ethical fund」で、約 3,950 万ユーロの販売であった。

また、図表 1 は SRI ファンドの資産残高の状況を示している。資産残高が最大のファンドは Allianz 社が設定する「Allianz Securicash SRI」であり、約 29 億ユーロ、次いでフランスの Soc Générale 社が設定する「SGAM Invest Monetaire ISR」で、約 17 億ユーロ、3 番目は Allianz 社の「AGF Valeurs Durables (C)」で約 11 億ユーロとなっている。そして、欧州エリアの全 SRI ファンドの総資産残高は約 477 億ユーロであった。資産残高上位 20 銘柄のうち、10 銘柄はフランスのファンドであり、他にはルクセンブルク、ベルギー、英国、スイスのファンドとなっている。

図表1 欧州のSRIファンド資産残高TOP20 (2009年8月現在)

国籍	投資対象	ファンド名	資産残高 (百万ユーロ)
フランス	欧州株式、債券	Allianz Securicash SRI	2,928.8
フランス	欧州株式、債券	SGAM Invest Monetaire ISR	1,696.5
フランス	欧州株式	AGF Valeurs Durables (C)	1,061.0
フランス	欧州株式、債券	BNP Paribas Moné Etheis	1,034.3
ルクセンブルグ	水関連株式	SAM Sustainable Water	971.4
フランス	欧州株式、債券	MACIF Court Terme ISR (C)	962.7
フランス	欧州債券	Natixis Impact Aggregate Euro	871.5
ルクセンブルグ	欧州株式、債券	Dexia Money Market Euro Sustainable	698.4
フランス	欧州株式、債券	Natixis Impact Cash	679.8
ベルギー	欧州債券	KBC Obli Euro	674.5
フランス	欧州株式	Fructifonds Valeurs Européennes	592.2
英国	英国株式	F&C Stewardship Growth	571.8
スイス	欧州株式、債券	Swisscanto (OH) Institutional Fund - Portfolio Green Invest	443.9
ベルギー	欧州企業社債	Dexia Sustainable Euro Corporate Bonds	436.0
ルクセンブルグ	環境関連株式	dit-Global Eco Trends	435.6
スイス	スイス株式	Equities CH Indexed, Corporate Governance	434.8
フランス	フランス株式	Ecureuil Bénéfices Responsables	434.8
ルクセンブルグ	環境関連株式	UBS(Lux) Equity - Global Innovators	383.6
フランス	欧州債券	Natixis Crédit Euro	376.9
英国	環境関連株式	Jupiter Ecology	369.4

出所：Responsible Investor.com、Lipper FMI 資料を参考に NFI 作成

参考 URL:

http://www.responsible-investor.com/home/article/sales_of_sri_funds_plummet_green_funds_hold_steady/



GRI ジェンダー問題への取組みについてまとめたレポートを発表 (10月27日)

GRI (Global Reporting Initiative) は、IFC (International Finance Corporation: 国際金融公社) と共同で、ジェンダー問題への取組みについてまとめたレポートである「Embedding Gender in Sustainability Reporting-A Practitioners' Guide」を発表した。

GRI は、オランダに本部を置く国際機関で、企業のサステナビリティ報告に関する国際的なガイドラインの作成と、その普及を目的として設立された。また、IFC は、貧困減少と生活改善を目的に、発展途上国における民間セクターに対する投資支援や技術支援などを行う世界銀行グループの一機関で、本部をアメリカに置く。

同レポートは、ジェンダー問題の各分野について述べた6つの章と、レポートの意図について述べた「今後」で構成されている。

6章の内容は、第1章「企業内の統制と評価の中における男女平等」、第2章「職場における男女平等」、第3章「サプライチェーンにおける男女平等」、第4章「コミュニティにおける男女平等」、第5章「消費者と男女平等」、第6章「投資と男女平等」である。

さらに、各章はそれぞれ、「イントロダクションとトレンド」「実践」「ステイクホルダーの意見」「GRI ガイダンス内の関連する評価基準」「他の評価基準の例」「男女平等方針と法律の例」「男女平等に関連した取組みと報告の例」の項目に分かれている。

このうち、第1章の「実践」の項目では、企業が男女平等を実現するためにできることとして、

- ・ 男女平等の実現を企業の使命とすることを企業の綱領において明確に定めること
- ・ 企業内で男女平等に関するコミットメントを獲得するための計画の「分かりやすい目標（女性取締役や女性管理職の数など）」「責任の所在」「実施のスケジュール」「実施を監視する仕組み」を定めること
- ・ 企業レベルのジェンダーイニシアチブの予算を確立すること

などを挙げている。

上記以外の内容については、GRI のホームページにて閲覧できる。

http://www.globalreporting.org/NR/rdonlyres/A98BDFC5-0984-45D1-A778-39405A81C1CD/3532/GRIIFC_Full_Gender1.pdf

（社会システム研究所 CSR 調査室 佐藤 拓人
曾我 昂平）